

秩父荘入浴設備改修工事 設計図

秩父荘入浴設備改修工事	設計図	区 分	名 称	縮 尺	株 式 会 社 丸 岡 設 計 一 級 建 築 士 登 録 第 107399 号 二 宮 和 夫	所 長	主 査	設 計	日 附	NO. A - 0 1
			表 紙							

目 次

[illegible]

秩父荘入浴設備改修工事	設計図	区 分	名 称	縮 尺	株 式 会 社 丸 岡 設 計 一 級 建 築 士 登 録 第 107399 号 二 宮 和 夫	所 長	主 査	設 計	日 附	N O . A - 0 2
			図面目録							

[illegible]

秩父荘入浴設備改修工事	設計図	区 分	名 称	縮 尺	<div>株 式 会 社 丸 岡 設 計</div> <div>一 級 建 築 士 登 録 第 107399 号 二 宮 和 夫</div>	所 長	主 査	設 計	日 附	NO. A-03
			特記仕様書（改修その１）							

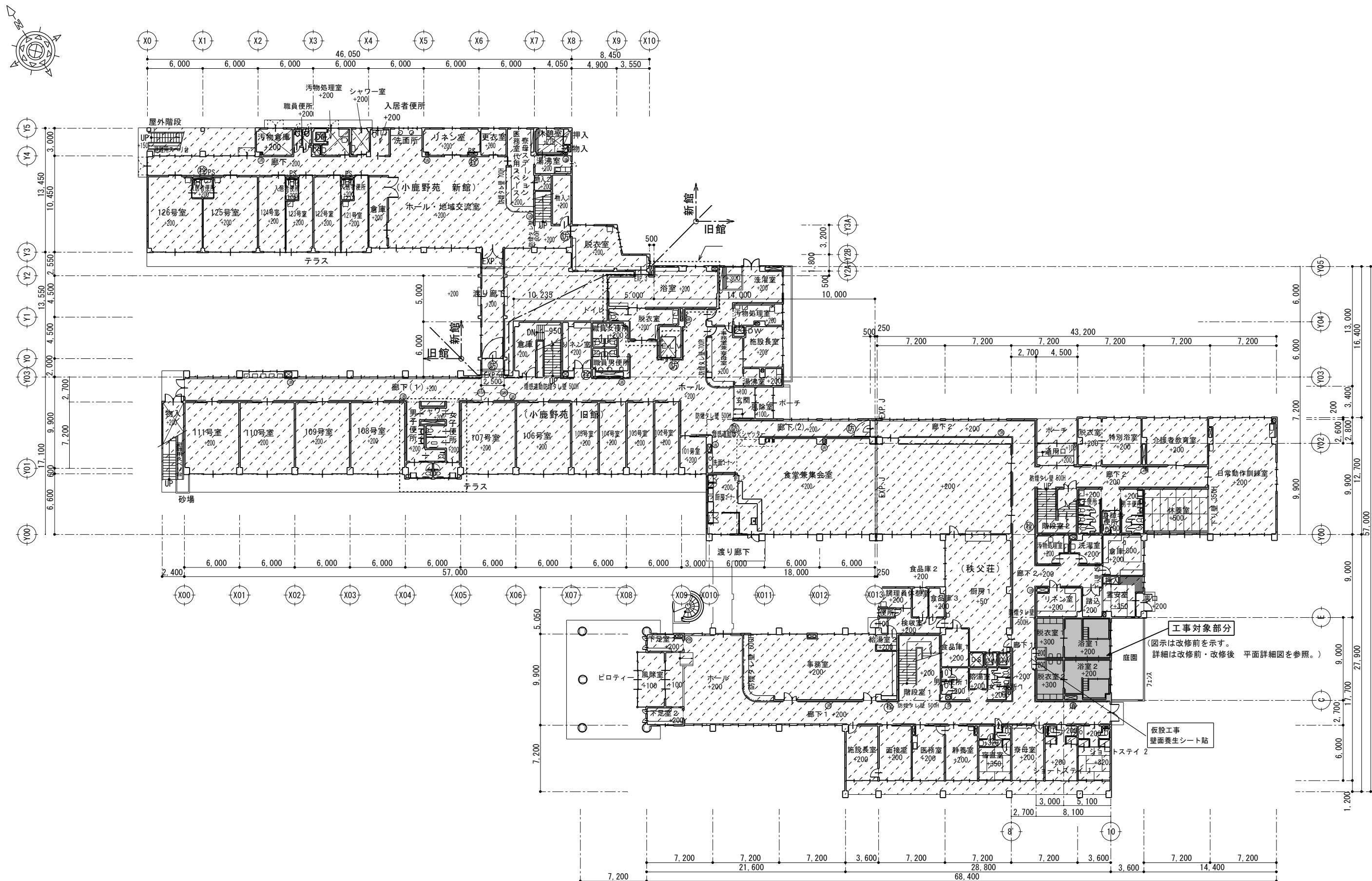
[illegible]

[illegible]

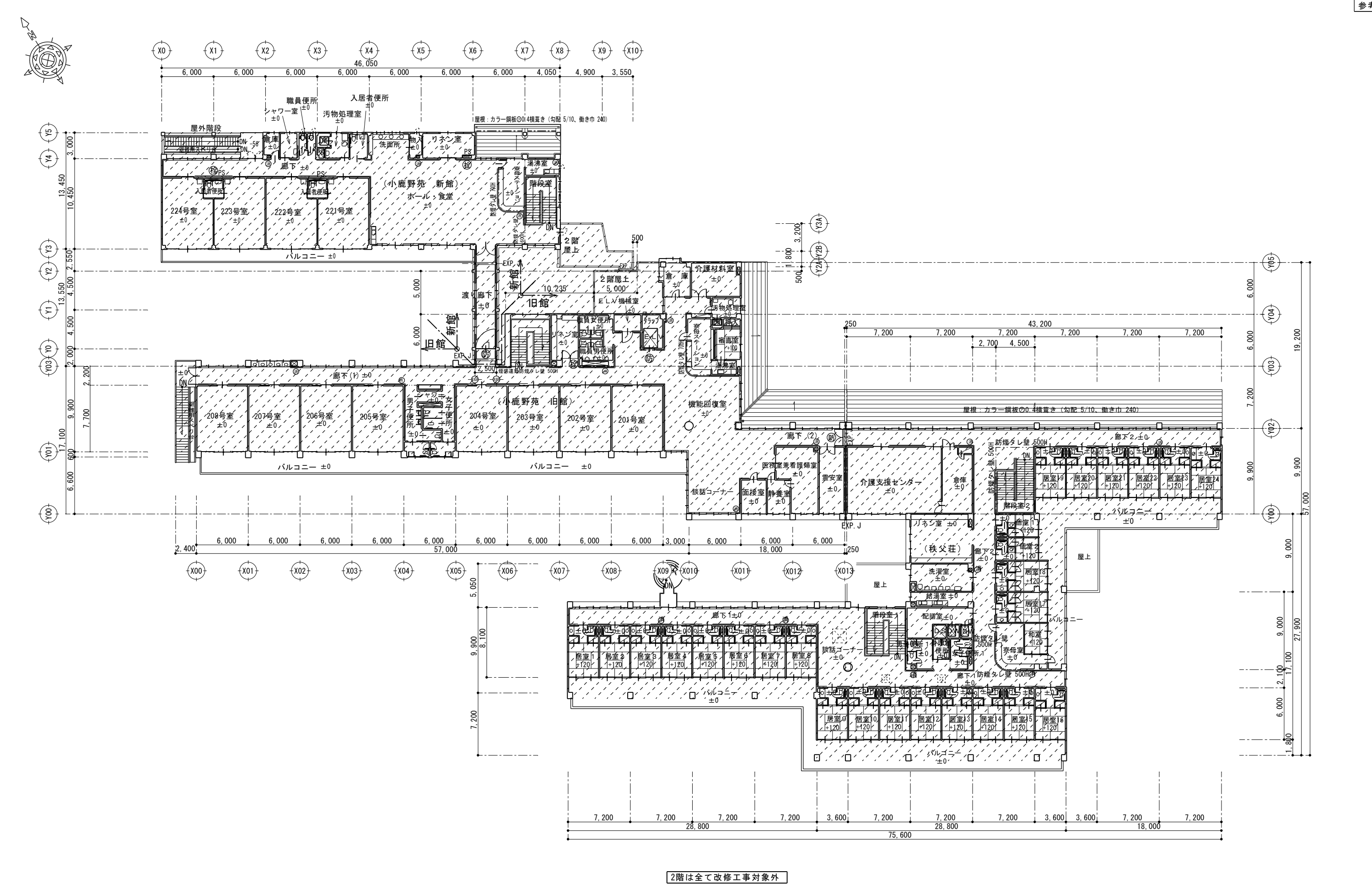
10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) <div> <div> 種類の種類</div> <div> <div>種類</div> <div>記号</div> <div>網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）</div> <div>使用部位</div> </div> </div> <div> <div>種類</div> <div>記号</div> <div>網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）</div> <div>使用部位</div> </div>
------------	------	--

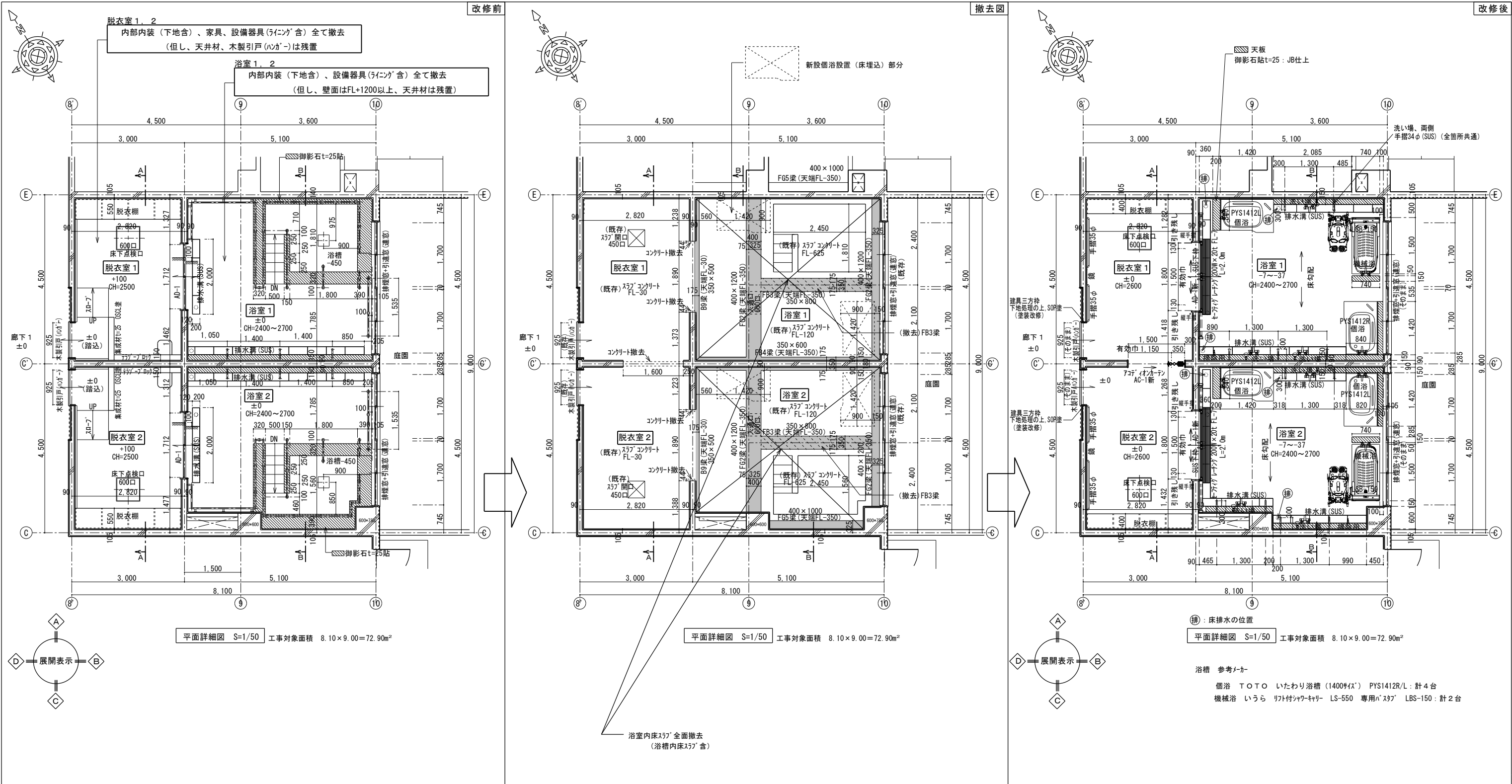
施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して（ ）箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による 不合格となった場合の措置	11 寒中コンクリート 適用期間（月 日～月 日） (6.11.1、2) 構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 ・ 図示による（ ）、S＝（ ） (6.12.2) 適用期間（月 日～月 日） 構造体強度補正値(S) ※0N/mm² ・ 図示による（ ）、S＝（ ） (6.13.1、2) 適用箇所 ・ 図示による（ ） セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による） スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による (6.14.1) ④ 無筋コンクリート コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18（N/mm²） スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 図示による（ ） 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-3法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。			2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類 記号 網目の形状、寸法、鉄線の径（mm） 使用部位			12 暑中コンクリート 適用期間（月 日～月 日） 構造体強度補正値(S) ※0N/mm² ・ 図示による（ ）、S＝（ ） (6.13.1、2) 適用箇所 ・ 図示による（ ） セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による） スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による (6.14.1) ④ 無筋コンクリート コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18（N/mm²） スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 図示による（ ） 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-3法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径（mm）			13 マスコンクリート 適用期間（月 日～月 日） 構造体強度補正値(S) ※0N/mm² ・ 図示による（ ）、S＝（ ） (6.13.1、2) 適用箇所 ・ 図示による（ ） セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による） スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による (6.14.1) ④ 無筋コンクリート コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18（N/mm²） スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 図示による（ ） 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-3法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。			
	4 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ ・ 図示による（ ） (5.3.4) 機械式定着工法 適用箇所 ・ 図示による（ ） 種類 ・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・飯合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による			14 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む） 最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） (5.3.5) ※図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4(1)表4.1） ・ 図示による（ ） 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所（ ） 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所（ ） ・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm			
	⑤ 各部配筋	※図示による (5.3.7)			15 コンクリートの単位水量測定 適用期間（月 日～月 日） (6.11.1、2) 構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 ・ 図示による（ ）、S＝（ ） (6.12.2) 適用期間（月 日～月 日） 構造体強度補正値(S) ※0N/mm² ・ 図示による（ ）、S＝（ ） (6.13.1、2) 適用箇所 ・ 図示による（ ） セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による） スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による (6.14.1) ④ 無筋コンクリート コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18（N/mm²） スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 図示による（ ） 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(

秩父荘入浴設備改修工事	設計図	区 分	名 称	縮 尺	株 式 会 社 丸 岡 設 計 一 級 建 築 士 登 録 第 107399 号 二 宮 和 夫	所 長	主 査	設 計	日 附	NO・A-08
			特記仕様書（改修その6）							

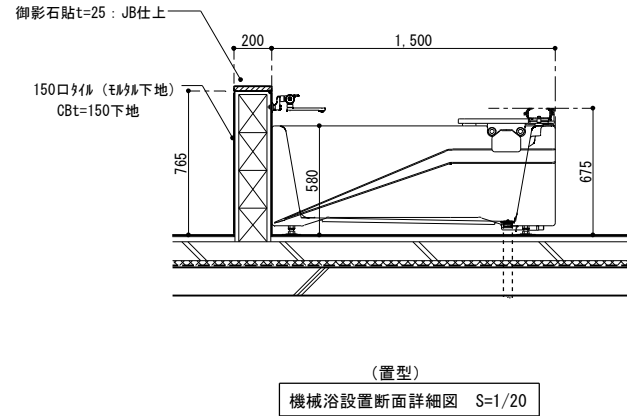
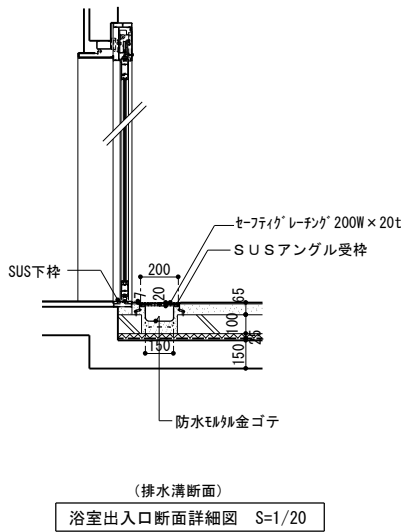
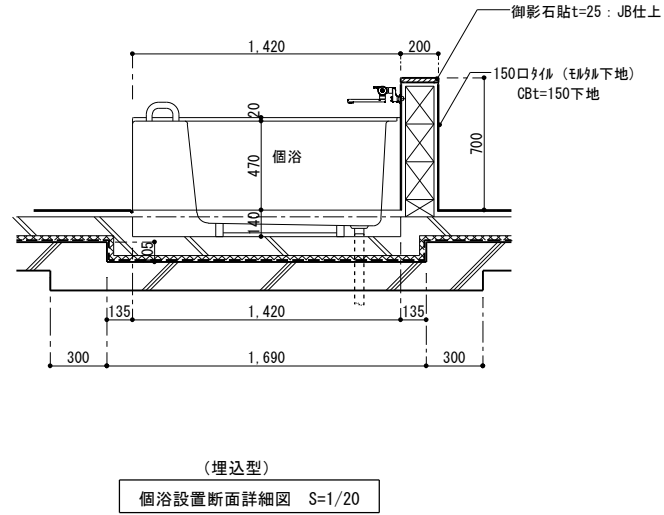
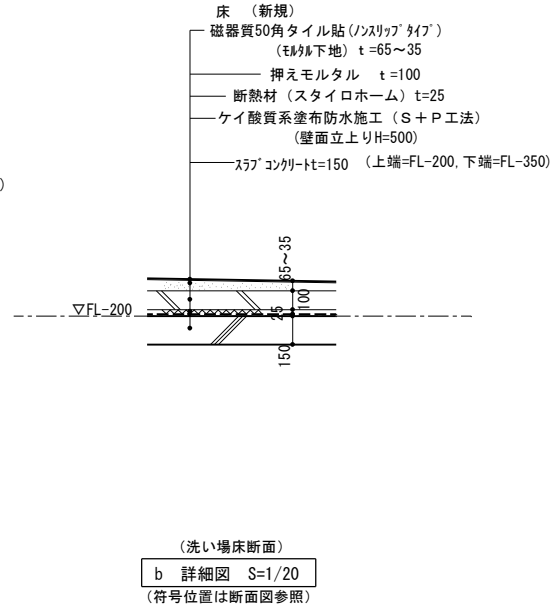
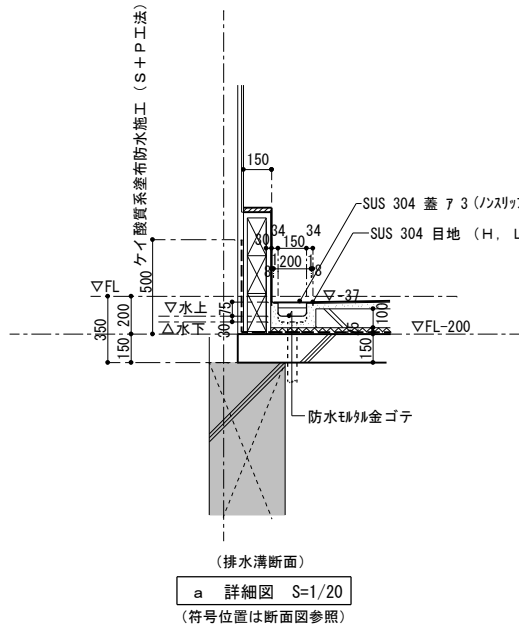
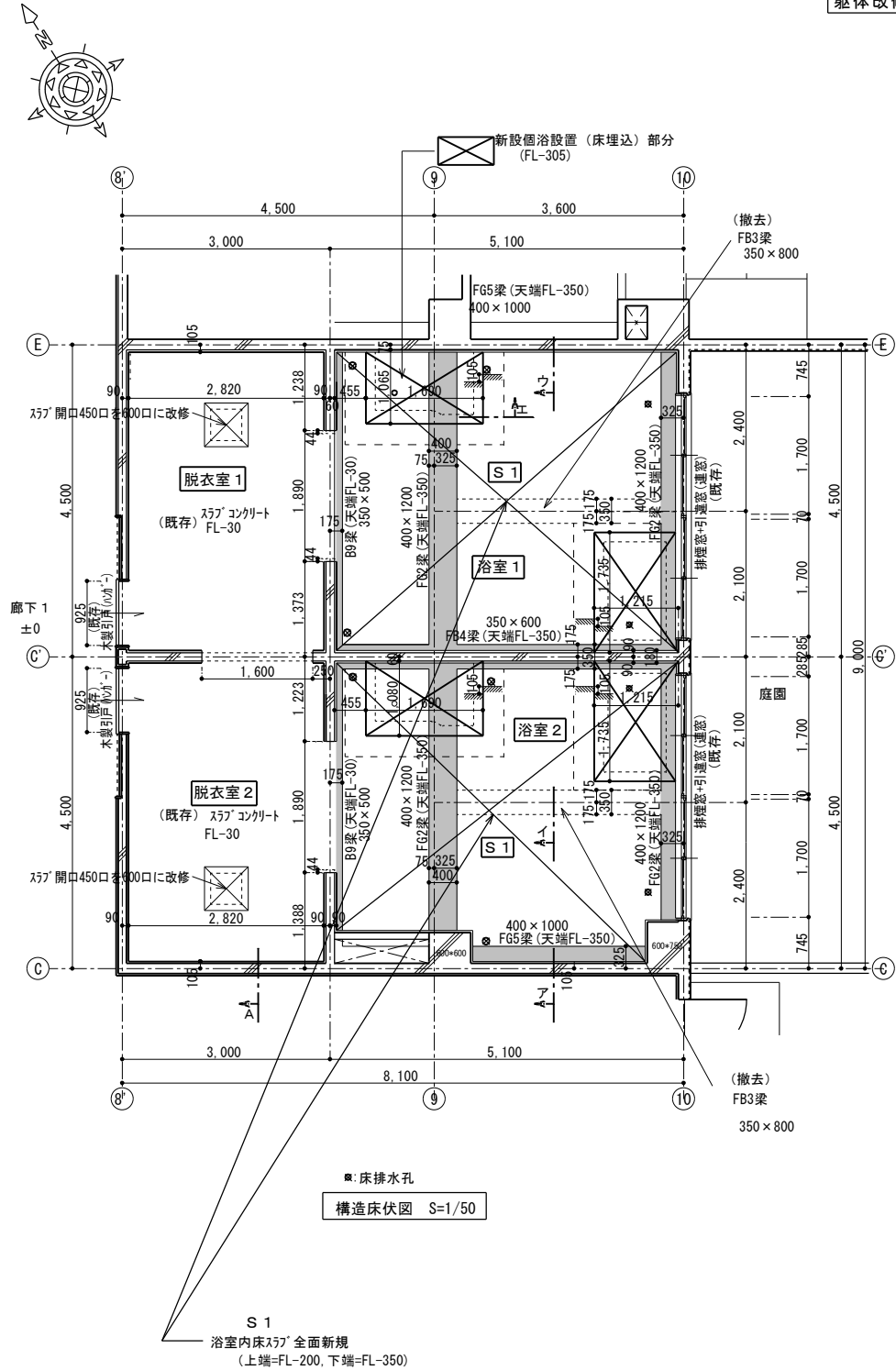


秩父荘入浴設備改修工事	設計図	区 分	名 称	縮 尺	株 式 会 社 丸 岡 設 計 一 級 建 築 士 登 録 第 107399 号 二 宮 和 夫	所 長	主 査	設 計	日 附	N O . A - 1 0
			改修前・改修後 1階平面図	S=1/200 (A1版出図) S=1/400 (A3版出図)						





内 部 仕 上 表																
階	室 名	壁芯面積 (㎡)	床	既存仕上げ	巾木	既存仕上げ	腰壁	既存仕上げ	壁	既存仕上げ	天井	既存仕上げ	廻縁	既存仕上げ	天 井 高	備 考
		内法面積 (㎡)		撤去部分 改修仕様		撤去部分 改修仕様		撤去部分 改修仕様		撤去部分 改修仕様		撤去部分 改修仕様		撤去部分 改修仕様		
1	脱衣室 1	13.50	70-リソリ t=12.5貼	下地:合板 t=12 (置床工法)	木製巾木H=75	天然木化粧合板 t=5.7		ビニル貼	下地: モルタル金ゴテ押さえ	ケイカル板 t=5.0目透し V.P.塗		下地: 軽天	塩ビ製	(前) CH=2,500	手摺:天然木無垢材35φ×125 L=600 (2本) 手摺:集成材35φ×125 L=2.85m	
	脱衣室 2	12.14	撤去: 全面撤去	下地: 全面撤去	撤去: 全面撤去	撤去: 全面撤去	撤去: 全面撤去	下地: 残置	撤去: なし (一部 900口×2枚撤去 (下地共))	下地: 残置		撤去: なし	撤去: なし	↓		
			改修: ビニル床シート t=3.5貼 (新規)	下地: モルタル金ゴテ(新規)	改修: ビニル巾木H=75貼	改修: 耐摩耗不燃化粧板 t=6突付(新規)	下地: 合板 t=12(新規)	改修: ビニル貼 (新規)	下地: 再利用	改修: E.P.塗 (防カビ入) (新規)	下地: 再利用	改修: 再利用	(後)CH=2,600			
						(ビニル不燃同等品)				(一部 900口×2枚新規貼替 (下地共))						
階	浴室 1 浴室 2	22.95	御影石貼(タタキ)仕上げ	下地: モルタル塗り	床タタキ (撤去撤去) 床タタキ (全面新規)	150口タタキ		下地: モルタル金ゴテ押さえ	70-リソリ t=1.0	下地: 軽天	塩ビ製	CH=2,400~				
		撤去: 全面撤去	下地: 全面撤去	撤去: FL+1200まで撤去 (他はそのまま)		下地: FL+1200まで撤去 (他はそのまま)	撤去: なし	下地: 残置	撤去: なし	改修: 再利用 (清掃のみ)	下地: 再利用	改修: 再利用				
		改修: 磁器質床用50口タタキ(タタキ)タタキ(新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)		下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)					下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)
	浴室 1 浴室 2	21.11 19.96	押えモルタル t=100 断熱材(タタキ) t=25 ケイ酸質系塗布防水施工 (S+P工法)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)	下地: モルタル塗り (新規)
			タタキ コンクリート t=150													

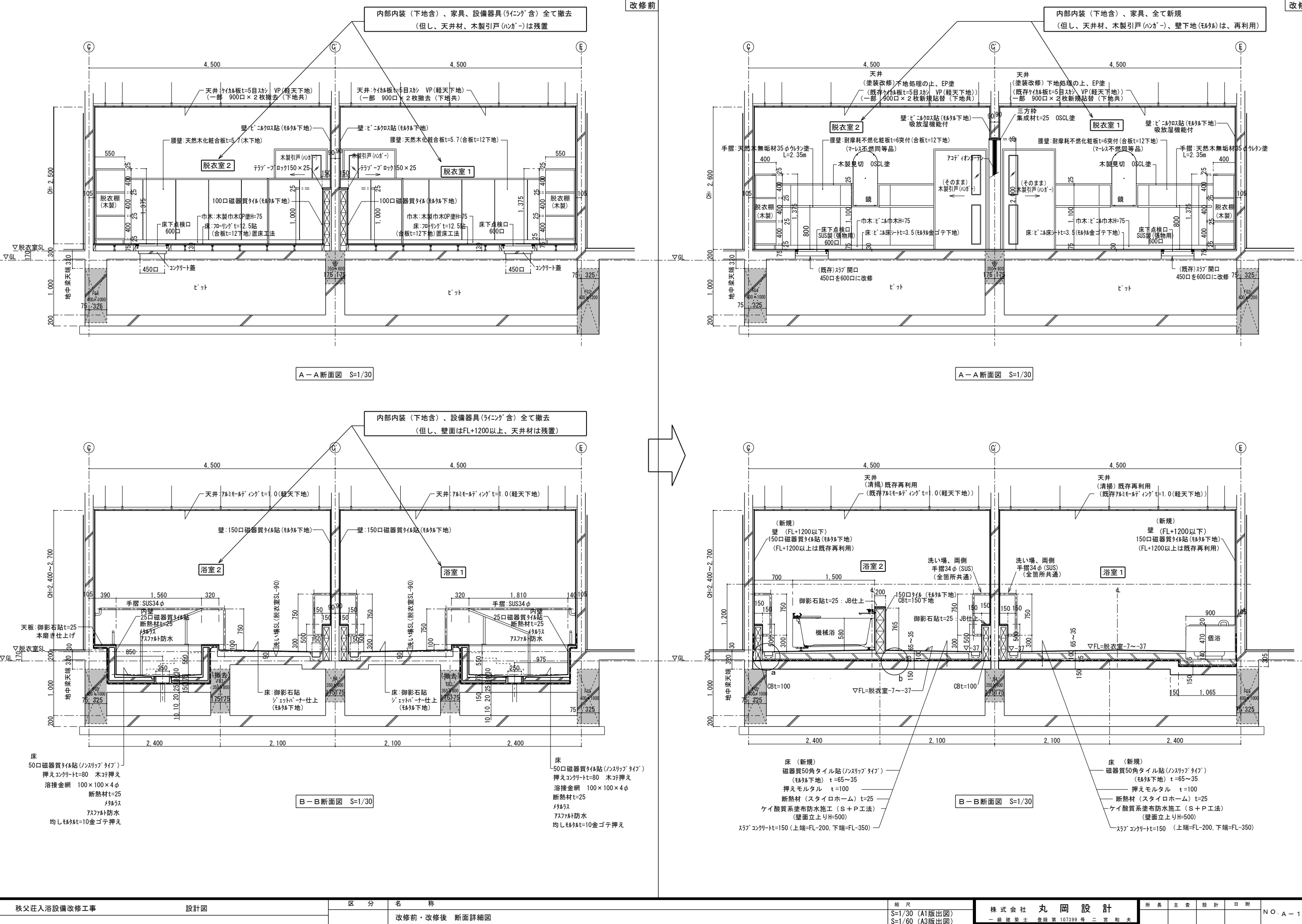


スラブリスト S=1/30

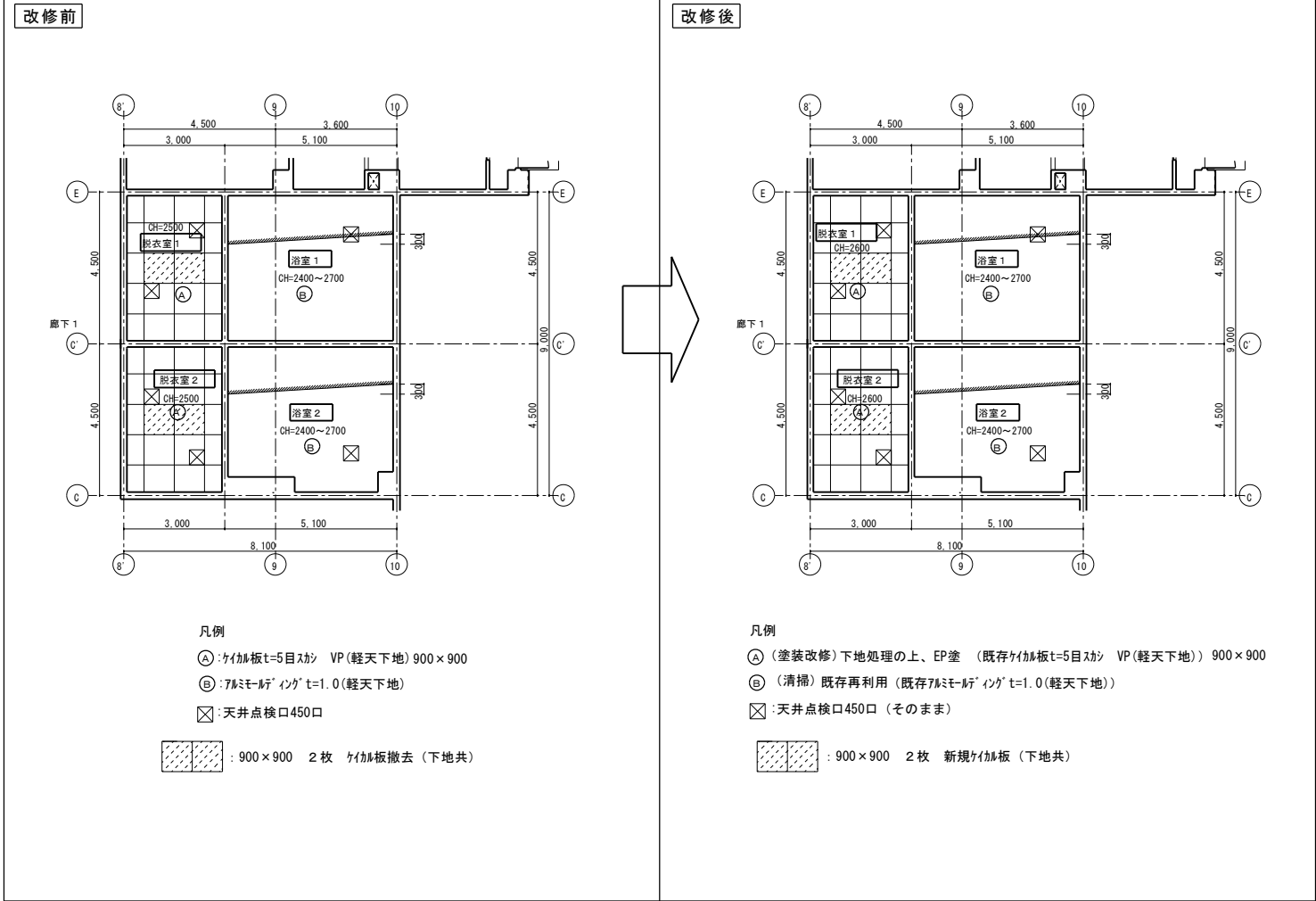
符 号	形 状
S 1	上筋 両方向共 D13-@200 下筋 両方向共 D10-@200 150

配筋リスト S=1/30

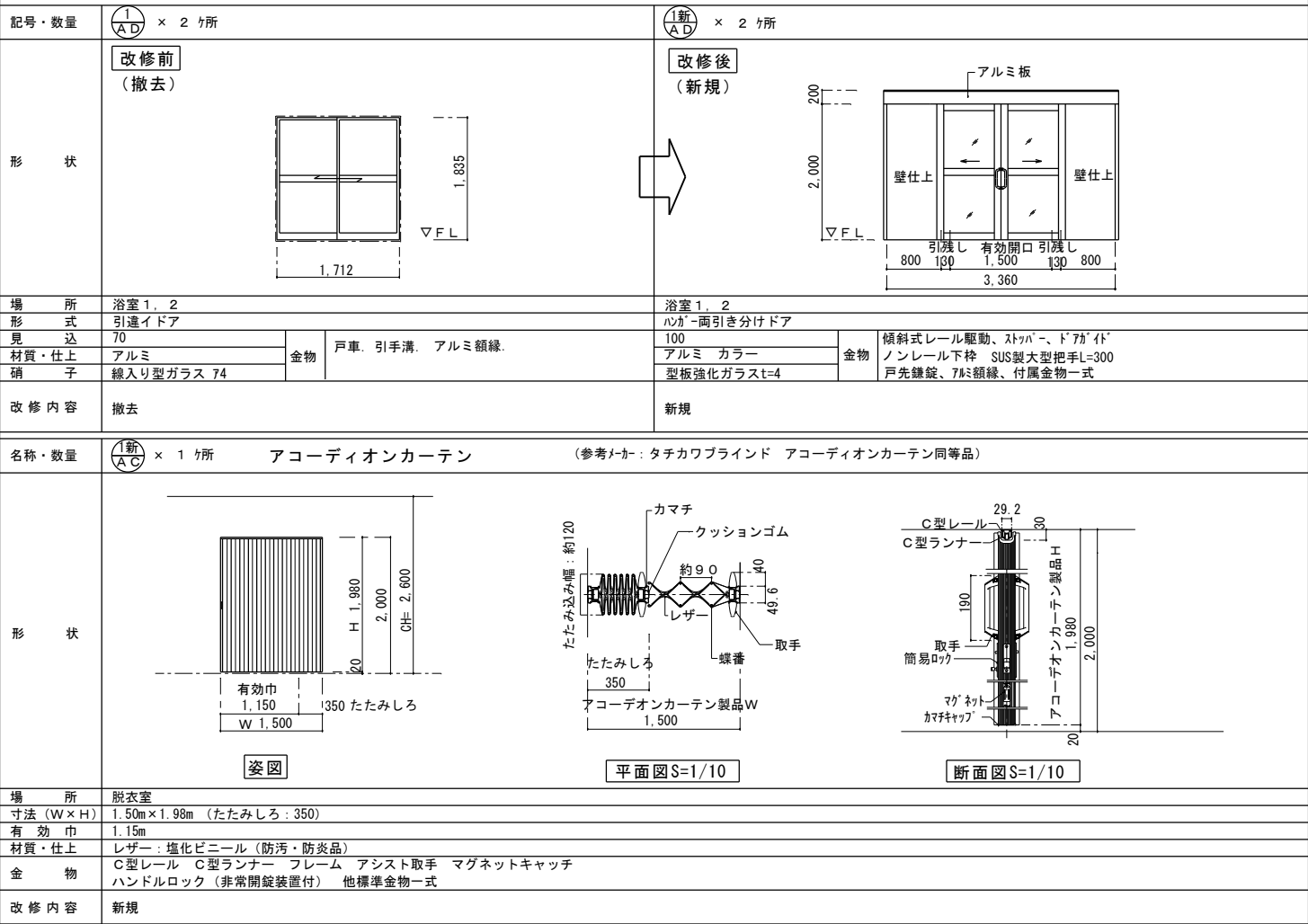
アー	イー	ウー	エー



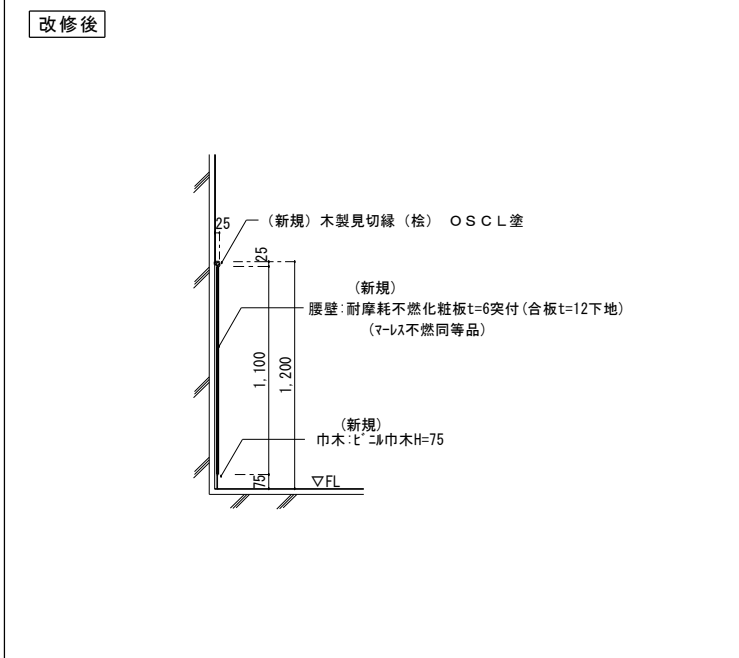
天井伏図 S=1/100



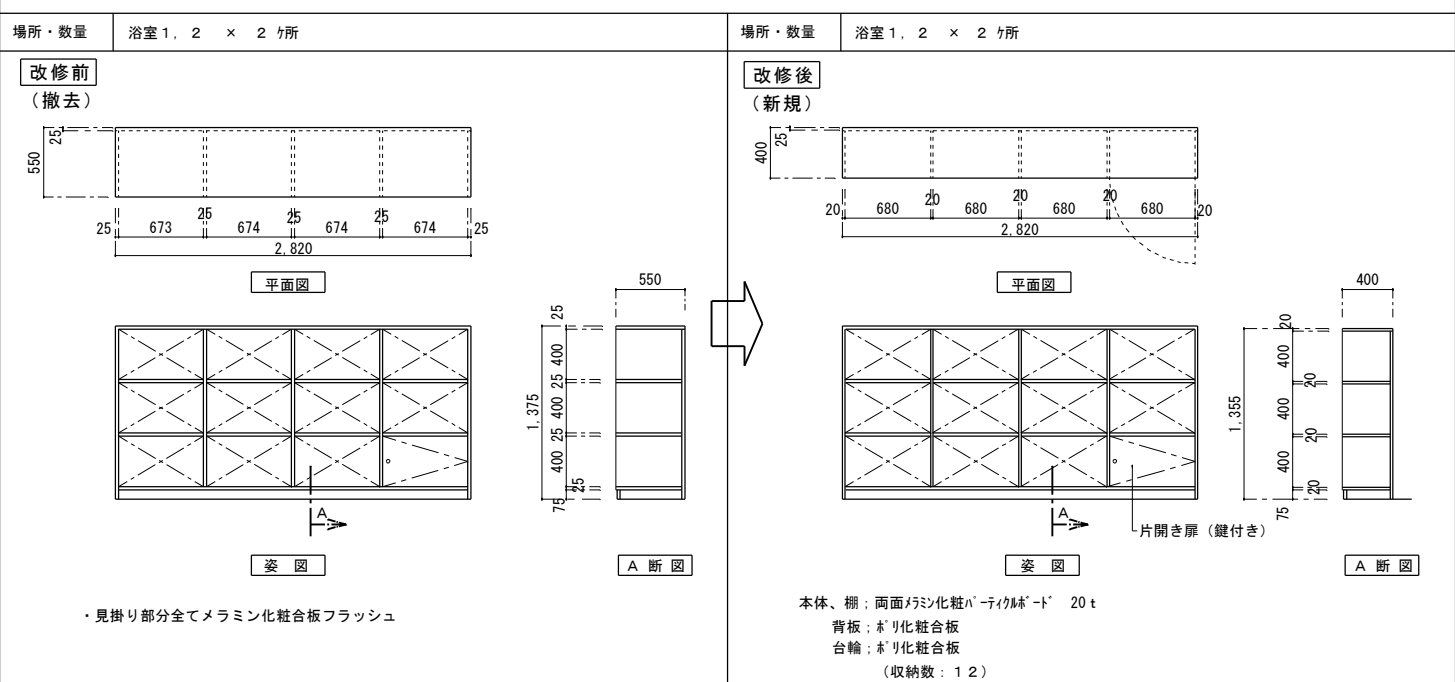
改修建具表 S=1/50



脱衣室腰壁断面図 S=1/20



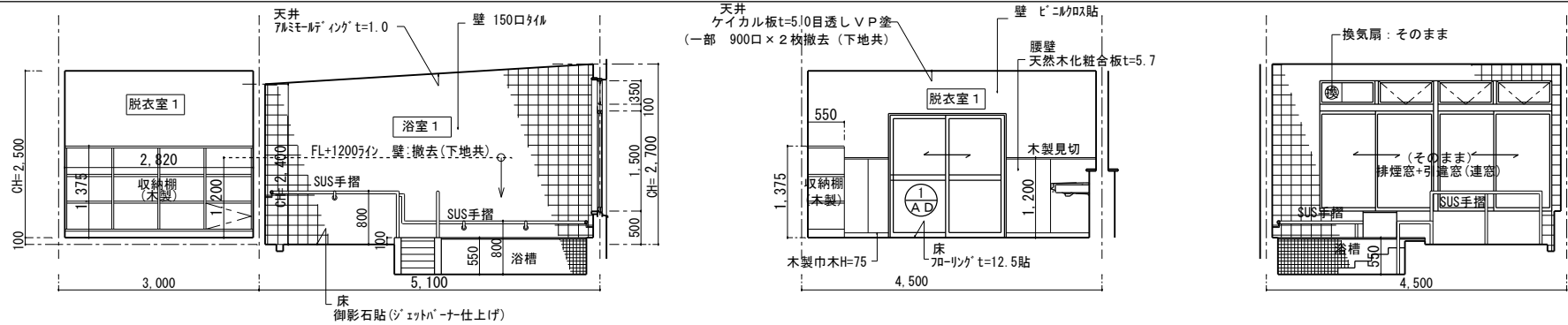
改修家具表 S=1/30



脱衣室1
内部内装（下地含）、家具、設備器具（ライニング含）全て撤去
（但し、天井材、木製引戸（ハガー）は残置）

浴室1
内部内装（下地含）、設備器具（ライニング含）全て撤去
（但し、壁面はFL+1200以上、天井材は残置）

浴室1・脱衣室1

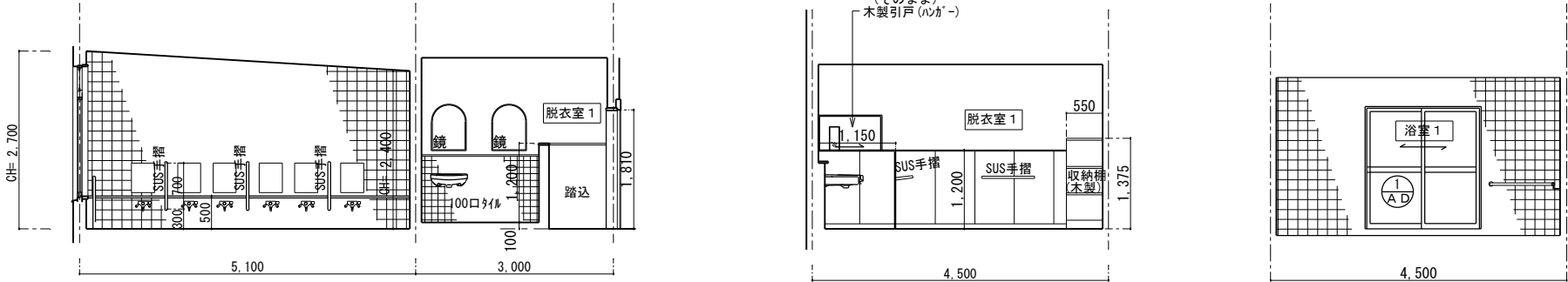


A

B

C

D



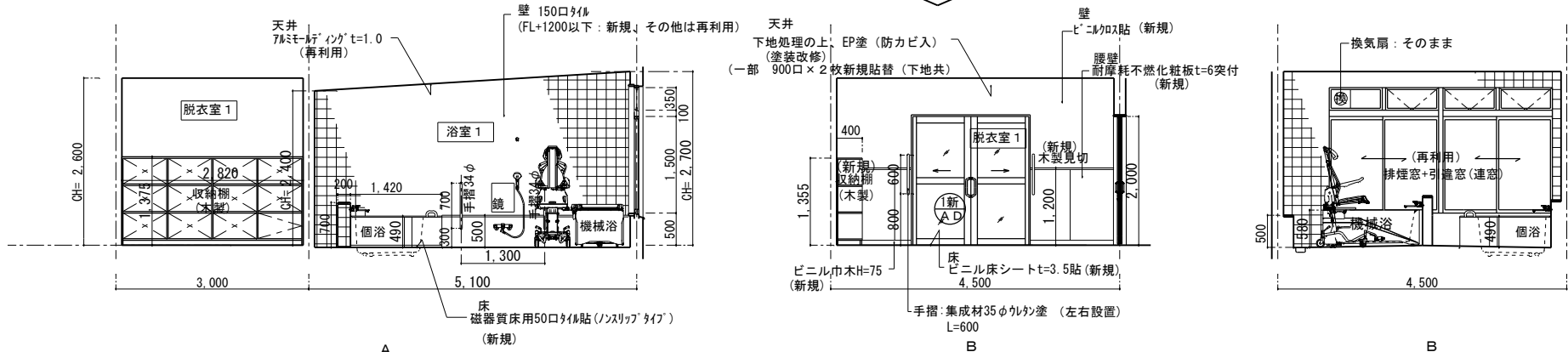
C

D

C

D

浴室1・脱衣室1



A

B

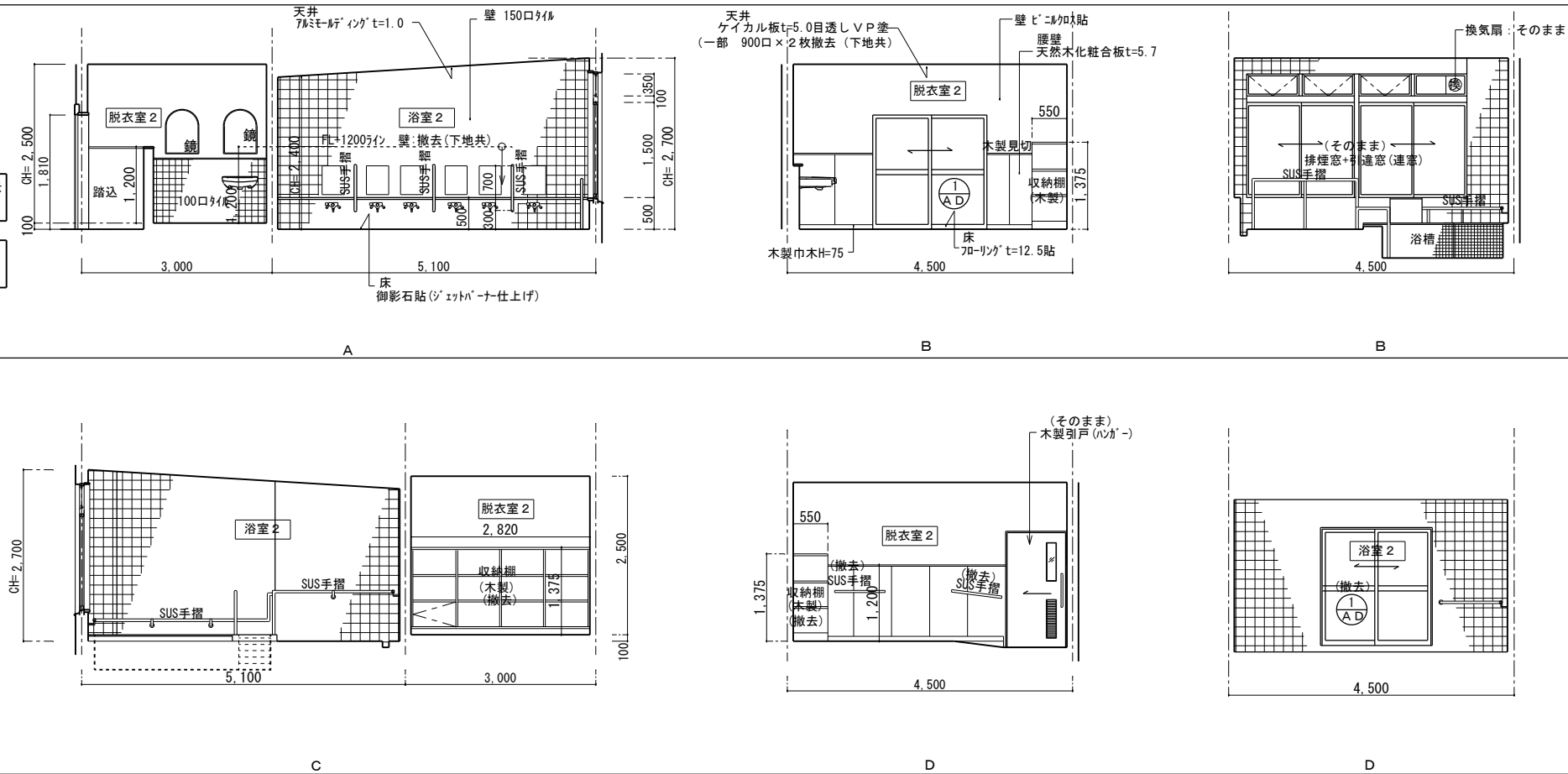
C

D

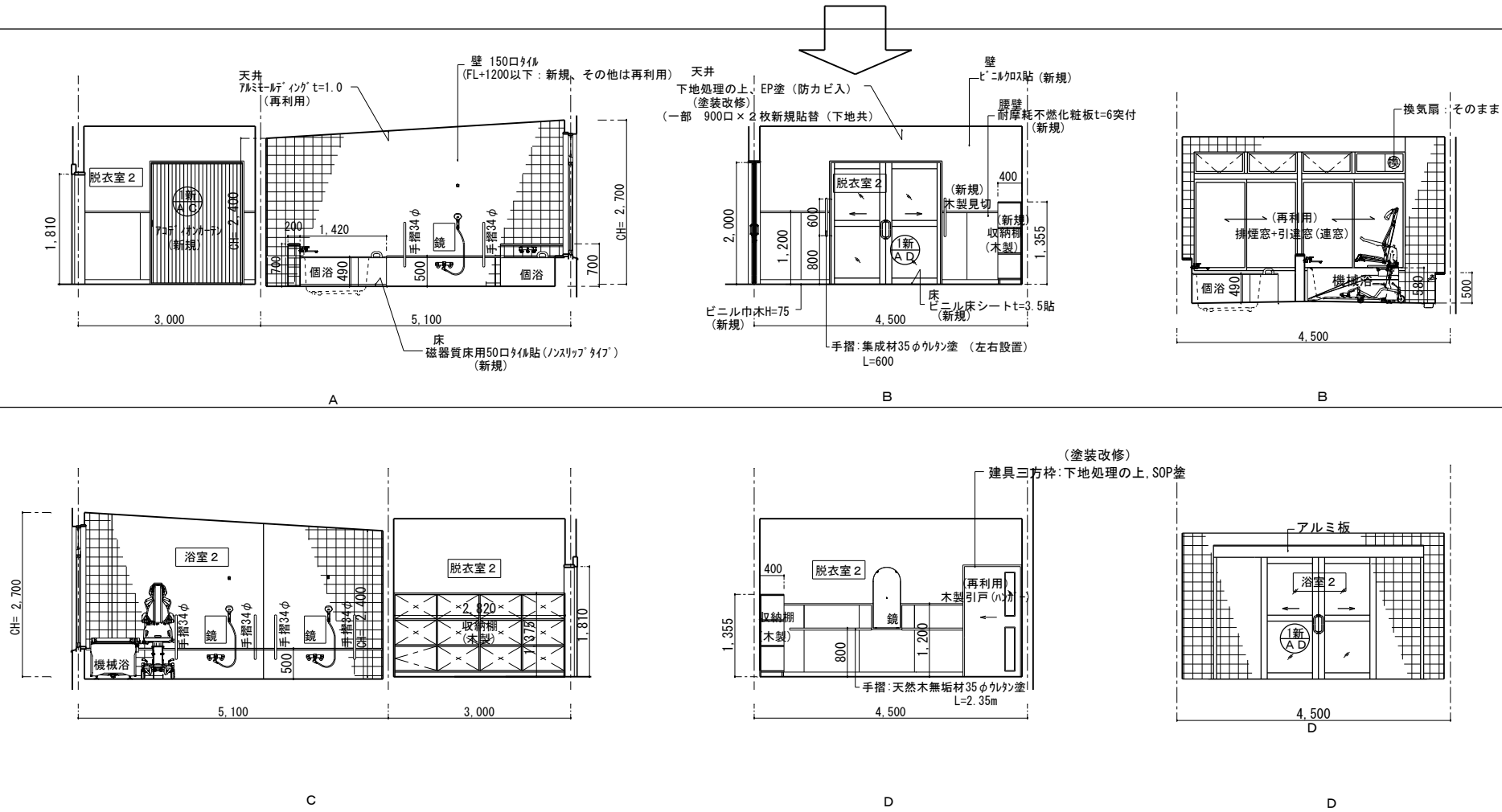
脱衣室 2
内部内装（下地含）、家具、設備器具（ライニング含）全て撤去
（但し、天井材、木製引戸（ハंगाー）は残置）

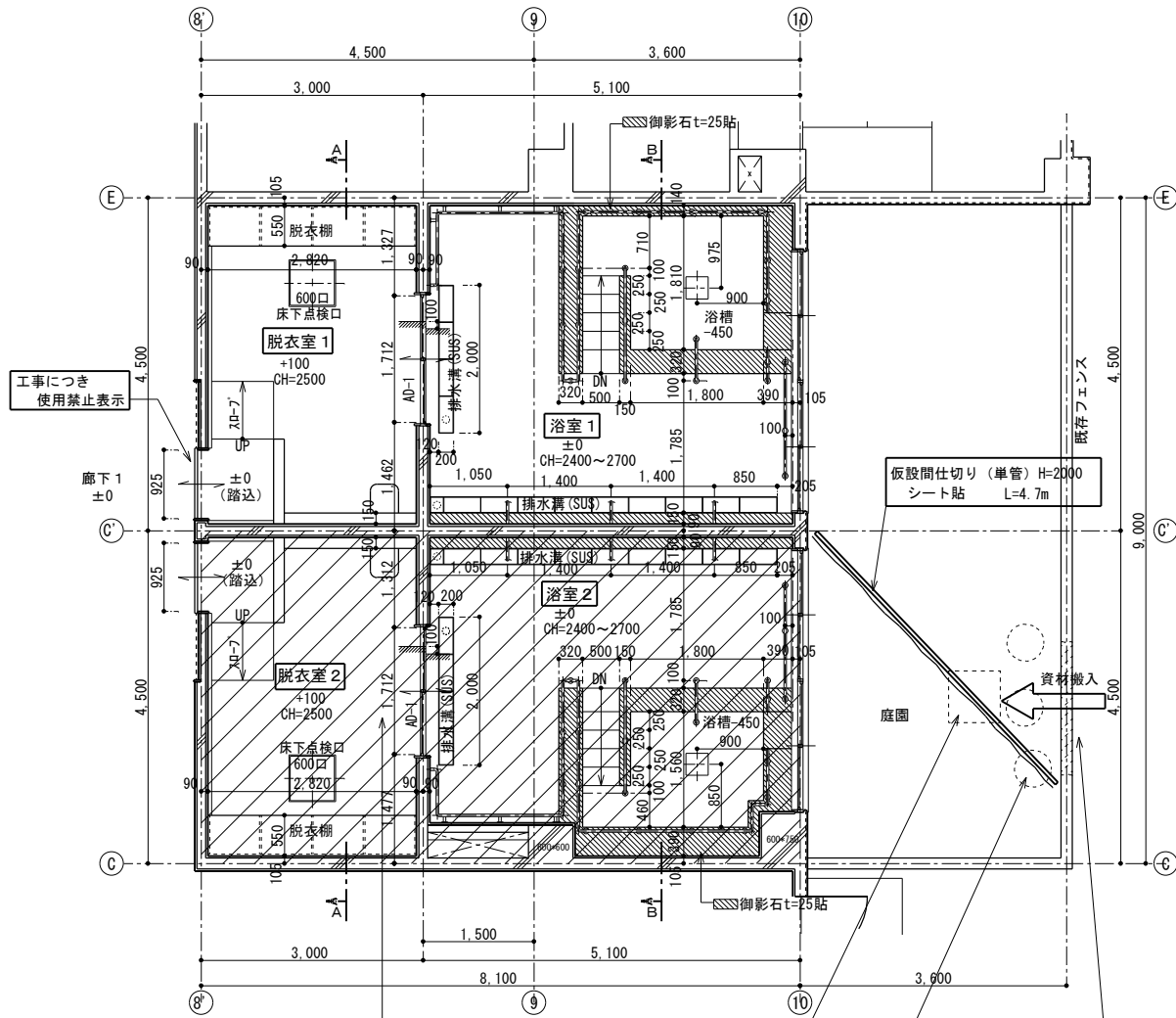
浴室 2
内部内装（下地含）、設備器具（ライニング含）全て撤去
（但し、壁面はFL+1200以上、天井材は残置）

浴室 2・脱衣室 2



浴室 2・脱衣室 2





工事につき
使用禁止表示

廊下 1
±0
(踏込)

浴室 1 工事中、浴室 2 は利用有り

浴室 1 工事

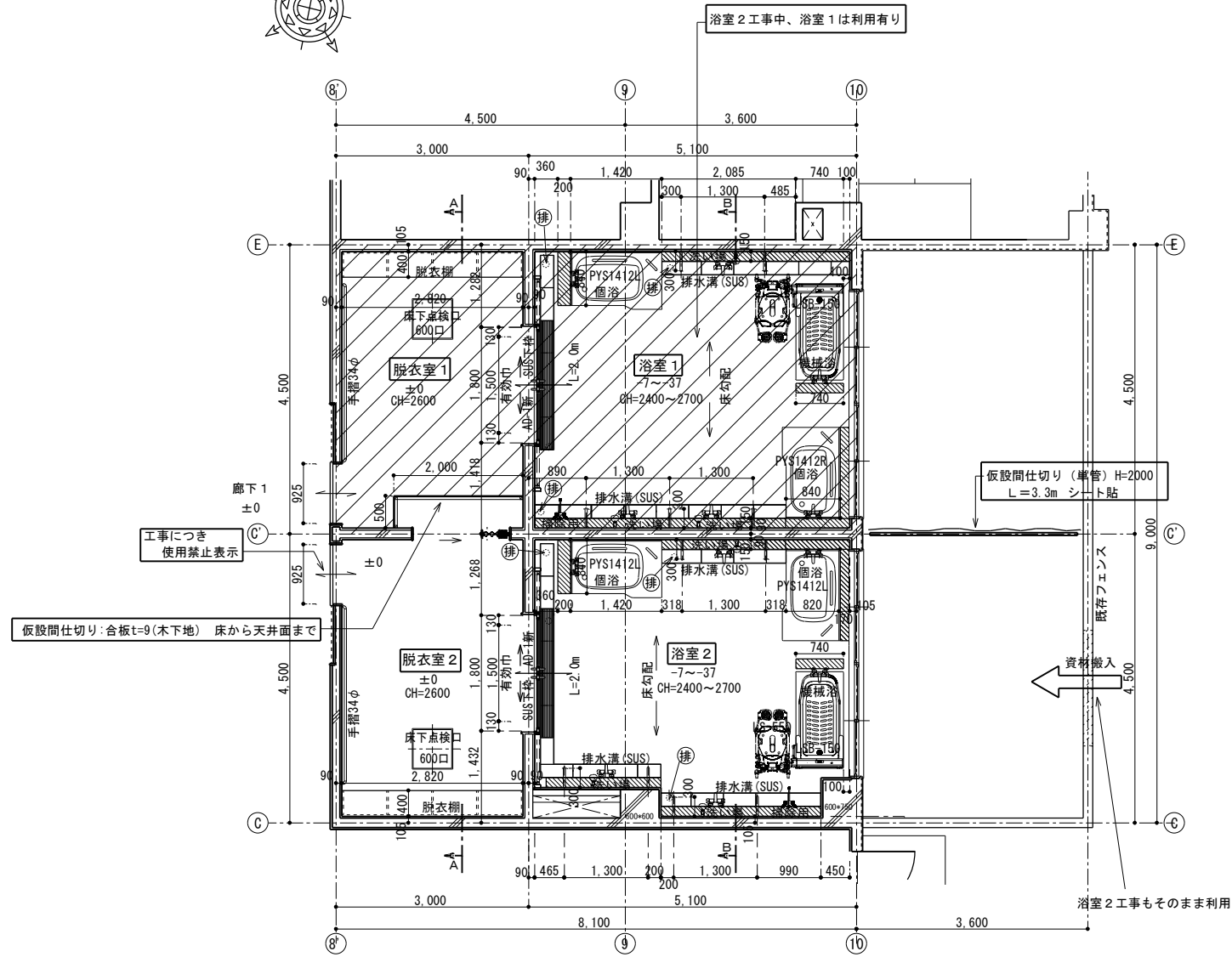
仮設図 S=1/50

既存フェンス (人口竹垣)
W=1800×H=1800 (n° 株2枚)
一時撤去 完了後、復旧

中木 (H=2.5m) : 3本
一時指定場所に移植、完了後、復旧

底石 (700×700×700) 1個
一時指定場所に移動、完了後、復旧

仮設図



工事につき
使用禁止表示

廊下 1
±0

仮設間仕切り: 合板t=9 (木下地) 床から天井面まで

浴室 2 工事

仮設図 S=1/50

浴室 2 工事もそのまま利用

仮設図